

第2回 Web 意見交換会(第3回市民ワークショップの代替) 実施報告

■ 目的

環境に関する市民の意識や意見を収集・把握し、(仮称)小平市第三次環境基本計画の素案策定に活かす。

■ 第2回 Web 意見交換会概要

当初は対面式によるワークショップの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Web 会議形式を採用した。これまで、参加者は無作為抽出による市民アンケートでワークショップへの参加登録があった方を対象としていた。第1回 Web 意見交換会の参加人数が少なかったことから、参加登録者からの紹介や、メルマガ登録者、小平市環境家計簿登録者に呼びかけを行い、参加人数を拡大した。Zoom のブレイクアウトルーム機能を活用することで、2 グループに分けて意見交換を行った。

- (1) 日時 令和2年7月17日(金) 午後6時30分～午後8時30分
- (2) 場所 Web 会議形式 (Zoom)
- (3) 参加登録者 27名
- (4) 当日参加者 10名

| 年齢 | 20 歳代 | 40 歳代 | 50 歳代 | 60 歳代 | 70 歳代 | 不明 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|----|
| 人数 | 1 | 1 | 1 | 5 | 1 | 1 |

■ 次第

- (1) 第1回 Web 意見交換会のふりかえり
- (2) 新しい計画の骨子・方向性について説明
- (3) 意見交換
 - ① 新しい計画に取り入れたい取組案等
 - ② 自分たちに出来ることは何か
 - ③ その他、より効果を高めるためのアイデアなど
- (4) まとめ

■ 内容

- (1) 第1回 Web 意見交換会のふりかえり

(仮称)小平市第三次環境基本計画を策定するにあたり、市民の皆様から広く意見を収集することを目的に、令和2年6月27日に市民ワークショップの代替として第1回 Web 意見交換会を開催した。当日話し合った3つのテーマ(①「現行計画の「市民の取組」の自己評価」、②「取り組めなかった理由(①で取組が弱かった項目)」、③「取り組むために必要なモノ・コトは何か」)について、集約した意見を示し、参加者の感想や新型コロナウイルスによって変化した生活様式を紹介した。

| 第2回 Web意見交換会 | | 7 |
|---|---|---|
| 2. 第1回Web意見交換会のふりかえり テーマ2 | | |
| 自然環境 基本目標Ⅱ 水と緑を守り自然と調和したまち こだいら | | |
| 施策の方向 | 1 水辺環境の整備 / 3 生き物との共生 | |
| 取組が弱い項目(討議対象) | ・ 自然観察会などのイベントに参加し、身近な生き物について学びます | |
| 取り組めなかった理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加したいが参加できない。どこで周知しているかわからない ・ 開催回数が少ないのではないか ・ 自然観察会には参加できていないが、日ごろから自然観察をしている ・ 観察会には参加していないが、借りている1坪農園でビオトープを作っているため、これから関心を持っていきたい ・ 仕事が忙しいため参加できない ・ 小平市に観察会を行うような会が少ない | |
| 取り組むために必要なモノ・コト | <ul style="list-style-type: none"> ・ 観察会の回数が増えればよいが、増やせないのであれば、webを利用して紹介、情報を提供して緑に関心を持つ機会が増やせるのではないかと ・ 街中に興味を持つ説明版など市民に訴えかける取組があればよいと思う(国分寺にあった) ・ 現在の人為的な環境を維持するために苦勞していることをアピールすればよいのではないか | |

Kodaira City Environmental Policy Sec.

<当日のスライド資料>

- (2) 新しい計画の骨子・方向性について説明

(仮称)小平市第三次環境基本計画の骨子や方向性について、現段階の(案)を示した。

(3) 意見交換

2 グループに分かれ、現段階の骨子や方向性をふまえ、施策ごとに①「新しい計画における取組案」について重点的に考えていただいた。①で挙げられた取組を受け、②「自分たちに出来ること」についての意見は出なかったが、③「より効果を高めるためのアイデア」については思いつく方から併せて発言があった。発言は挙手性とし、事務局が指名した後に発言するルールとした。最後に意見を集約し、参加者全員で共有した。進行の都合上、割愛したテーマがあり、それについてご意見がある方は、アンケートでご回答いただくこととした。



<意見交換を行った施策> ※太字が意見交換を行ったテーマ

| A グループ | B グループ |
|--|---|
| 省エネルギーの推進 エネルギーの有効活用 気候変動への適応 | 廃棄物の発生抑制（リデュース） 資源の循環利用（リユース・リサイクル） 適正処理の維持・向上 |
| 生物多様性の理解と配慮行動 水辺と緑地の保全・創出 生きものの保全・活用 | 大気・水・土壌環境等の監視と保全 身近な住環境問題への対応 まちの環境美化の向上 環境にやさしい交通手段への転換 |
| 環境教育・学習の充実 多様な主体との連携・協働 普及啓発による環境意識の向上 | 環境教育・学習の充実 多様な主体との連携・協働 普及啓発による環境意識の向上 |

○基本方針 I 地球温暖化・エネルギー対策の推進 (A グループ)

<省エネルギーの推進>

| | |
|---------------|--|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所、家庭、車両等、市全体の消費エネルギーの調査とそれに基づく施策の検討 ・省エネ機器等からの排熱の有効活用 ・LED の導入促進（※ただし国内品を推奨） ・PHV の導入促進（※太陽光等の再エネを利用する） ・水素ステーションの誘致 ・ZEH、ZEB の導入促進 ・家庭における省エネ推進の啓蒙・呼びかけ ・コミュニティバスの EV 化 |
|---------------|--|

<エネルギーの有効活用>

| | |
|---------------|---|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光の設置による弊害対策（景観配慮、廃棄物対策） ・AI を利用したエネルギーバランシングと電力の自家消費の推進 ・創エネ・蓄エネによるエネルギー有効利用 ・エネルギーの有効利用に資する IoT に関する助成 ・下水等の未利用熱の有効活用 |
|---------------|---|

<気候変動への適応>

| | |
|------------------|---|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の電力確保（蓄電池等の非常用電源の設置） ・透水性舗装の採用 ・グリーンカーテン（遮光植物）の推進 |
| ③より効果を高めるためのアイデア | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に非常用電源を確保することが必要 ・雨が降った際の水の溢れ出しを防止できると良い |

○基本方針Ⅱ 循環型社会の形成（Bグループ）

<廃棄物の発生抑制（リデュース）>

| | |
|---------------|--|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝や落ち葉を集めて肥料化して福祉施設等へ寄付 ・ペーパーレス化の促進（紙の使用量削減） ⇒クラウド化や印鑑を使わない取組も必要 ・プラ製の梱包材を紙に変える ・梱包材を削減 |
|---------------|--|

<資源の循環利用（リユース・リサイクル）>

| | |
|---------------|--|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーに変換して利用（廃油利用等） ・駅などのごみ箱のバリエーションを増やして分別を促進 ・図書館で図書の寄付を受ける、又は、交換会を開催 |
|---------------|--|

<適正処理の維持・向上>

| | |
|---------------|---|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設の熱を有効に活用する（現在は足湯のみ） ⇒プールや温泉にも使えるのでは ・家庭ごみに関する適正排出に向け、処理の流れや環境面のメリットなどの周知をしっかりと行う（10cm以下のプラスチックが燃やすごみになった） |
|---------------|---|

○基本方針Ⅲ 水と緑と生きものとの共生（Aグループ）

<生物多様性の理解と配慮行動>

| | |
|------------------|--|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・公園や緑地における動植物の情報を発信するための看板設置 |
| ③より効果を高めるためのアイデア | <ul style="list-style-type: none"> ・小平市の特性として用水路があるが、場所によって整備の程度が異なる。用水路を遊歩道化するなどの対策が必要 ・市内にはすでに施策を進めている団体があるので、市の方で情報を集約して発信すると良い |

<水辺と緑地の保全・創出>

| | |
|------------------|--|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスによる駅・公園・緑地の循環とそれによる自家用車利用の低減 ・水素コミュニティバス等、再エネを動力とするバスの導入 |
| ③より効果を高めるためのアイデア | <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の選定について、花の咲く時期など、デザインできると良い ⇒道路の街路樹の選定については、説明会等を開催し、市民の意見を基に決めている。 ・農地の減少の原因は何か？ ⇒相続税が主な理由 |

○基本方針Ⅳ 快適な生活環境の確保（Bグループ）

<大気・水・土壌環境等の監視と保全>

| | |
|---------------|---|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・雨水浸透枮を各戸に設置するように推進する |
|---------------|---|

<身近な住環境問題への対応>

| | |
|---------------|--|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・野良猫の死骸を適正に処理する（感染症にも対応が必要） ・家畜を飼っている方々に管理の注意喚起（食害等を予防） |
|---------------|--|

<まちの環境美化の向上>

| | |
|---------------|--|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・犬のふん対策として、啓発看板を配布 |
|---------------|--|

<環境にやさしい交通手段への転換>

| | |
|---------------|---|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクル（自転車の共同利用）の推進 ⇒拠点を増やすなど |
|---------------|---|

○基本方針Ⅴ 学びと協働の推進（A、B共通）

<環境教育・学習の充実>

| | |
|---------------|---|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの思想を踏まえた環境教育の推進 ・ふれあい下水道館をもっとPRして活用（良い施設） ・リサイクルセンターでの販売拡大に向けインターネットなどを活用 ⇒ホームページでリサイクル商品を紹介する (※現在あるシルバー人材センターのホームページを改善) |
|---------------|---|

<普及啓発による環境意識の向上>

| | |
|------------------|--|
| ①新しい計画における取組案 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境に携わるボランティアへの環境ポイントの付与（環境ポイントは地域の小売店で利用） ・ボランティア経験者の体験談に関する情報発信 |
| ③より効果を高めるためのアイデア | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの参加はハードルを下げることが重要 ・環境保全の取組を促進するためには、市内の環境保全について良い例、悪い例を取り上げて情報発信することが有効 |

| | |
|--|-----------------------------------|
| | ・防犯カメラの設置はごみの処理などの環境保全につながる可能性がある |
|--|-----------------------------------|

(4) まとめ

意見交換会の感想やその他の意見等をいただいた。

| | |
|-----------|--|
| 意見交換会に関して | <ul style="list-style-type: none"> ・意見の内容は情報公開して市民が見られるようにしてほしい ・Web 会議は、他の会議にも有効に使える ・色々な取組を知ることができた。もっと他の人にも参加してほしい ・テレワークを行って小平市の環境が良いと思ったので、積極的に良い街と PR したらどうか |
| 新型コロナに関して | <ul style="list-style-type: none"> ・4月からテレワークしているが、自然豊かなところで仕事ができるのは非常に良いと思った。新しい職住の場所として小平市は良いところなので積極的に PR するのが良いのではないか。 |
| 市報に関して | <ul style="list-style-type: none"> ・市報を HP で提供することはできないか（紙の削減） ・市報を全戸に配布しないで、不要な人には配らないようにする |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・（埼玉から電車に乗ってくる人のマスク着用率は低い）小平市はマスクをしている人が多くて安心できる |

■終わりに

地球温暖化・エネルギー対策の分野では、省エネ関連機器の導入を促進する取組が多く挙げられ、その取組に災害対策の視点が含まれているものが散見された。熱エネルギーの有効利用について興味を持つ方が多い印象であり、災害と環境の両面からの対策が求められている。その他の分野においても、市民の視点に立った提案が数多く出され、とても有意義な意見交換会となった。

今回の Web 意見交換会で新たに 5 名加わったが、全員が問題なく会議に参加できた。Web 意見交換会の開催を通じて、パソコンを所持している方であれば年齢は関係なく、ほとんどの方が Web 会議に参加可能である。

参加人数が多いほど Web 会議の開催側としての役割（参加承認作業、資料の共有、音声確認、進行、意見の記録や集約等）は多く、参加者に意見を求める会議では、1 回 5～10 名ほどが妥当であると考え。Web 会議を活用する場合は、開催する会議の内容や趣旨によって参加人数の設定が必要である。